

燃料費等調整単価のお知らせ

〔高圧・特別高圧：標準供給条件、選択供給条件
(2025年4月見直し後の市場価格調整を適用のお客さま)〕

2026年3月分

燃料費等調整単価

区分			燃料費調整単価		離島 ユニバーサル サービス 調整単価	市場価格 調整単価	燃料費等 調整単価 (合計)
			基準燃料費調整単価	割引単価*			
高圧	業務用電力A、 産業用電力Aなど	1 kWh につき	▲1.04円	▲2.30円	▲0.03円	0.14円	▲3.23円
特別高圧	業務用電力A、 産業用電力Aなど	1 kWh につき	▲1.02円	—	▲0.03円	0.14円	▲0.91円

- 2026年3月分の燃料費調整単価は、2025年10月～2025年12月の平均燃料価格により算出されます。
 - 2026年3月分の離島ユニバーサルサービス調整単価は、2025年10月～2025年12月の離島平均燃料価格により算出されます。
 - 2026年3月分の市場価格調整単価は、2025年12月21日～2026年1月20日の平均市場価格により算出されます。
 - 燃料費等調整単価の推移については、当社ホームページ (<https://www.kyuden.co.jp/business/menu/adjustment-past.html>) をご覧ください。
- * 燃料費調整単価に国の「電気・ガス料金支援」による割引を反映しています。
詳細は、資源エネルギー庁の特設サイト (<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>) をご覧ください。

平均燃料価格

区分	2025年10月 ～ 2025年12月	平均燃料価格 (原油換算)	料金設定の基準となる 平均燃料価格 (原油換算)
平均原油価格	68,874円/kL		
平均液化天然ガス価格	83,931円/t	35,500円/kL	46,100円/kL
平均石炭価格	18,419円/t		

- 平均燃料価格は3か月間の貿易統計実績によるものです。

離島平均燃料価格

区分	2025年10月 ～ 2025年12月	離島平均燃料価格 (原油換算)	料金設定の基準となる 離島平均燃料価格 (原油換算)
平均原油価格	68,874円/kL		
平均液化天然ガス価格	83,931円/t	68,900円/kL	79,300円/kL
平均石炭価格	18,419円/t		

- 離島平均燃料価格は3か月間の貿易統計実績によるものです。

平均市場価格

区分	単位	2025年12月21日 ～ 2026年1月20日	平均市場価格
市場価格	1 kWhあたり	全日 8.99円 昼間 8.49円	8.72円

- 平均市場価格は1か月間のスポット市場価格（九州エリア）の全日（24時間）・昼間（6～18時）の単純平均値を合成係数（全日：0.4627、昼間：0.5373）で加重平均したものです。

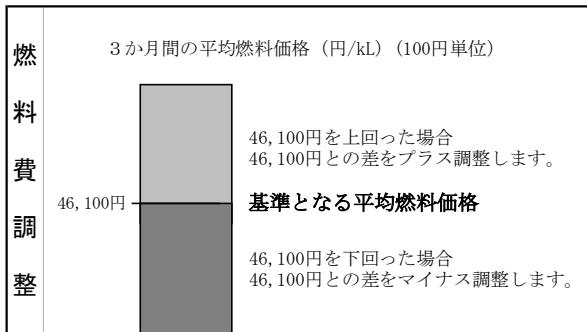
調整実施の基準となる 平均市場価格	1 kWhあたり	8.22円
----------------------	----------	-------

- 平均市場価格が8.22円を上回った場合はプラス調整、8.22円を下回った場合はマイナス調整を行います。

九州電力株式会社

燃料費調整制度の概要

火力燃料費（原油・液化天然ガス・石炭）の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、3か月間の平均燃料価格が46,100円／kL（料金設定の基準となっている原油換算燃料価格です。）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●基準燃料費調整単価（2026年3月分）

$$= \left[\frac{\text{平均燃料価格} - \text{基準値}}{(35,500円) - (46,100円)} \right] \times \frac{\text{基準単価}}{1,000}$$

$$= \boxed{\Delta 10,600円} \times \frac{0.098円(高圧の場合)}{1,000} = \boxed{\Delta 1.04円*} \quad (\text{税込})$$

* 小数点第3位四捨五入

※基準単価

平均燃料価格が1,000円／kL変動した場合の電気料金単価への影響額

高 圧	0.098円／kWh
特別高圧	0.096円／kWh

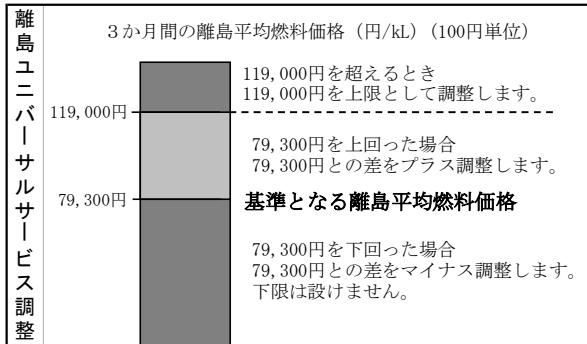
●平均燃料価格 = A × α + B × β + C × γ (100円未満四捨五入)

- A : 平均燃料価格算定期間ににおける1kLあたりの平均原油価格
- B : 平均燃料価格算定期間ににおける1tあたりの平均液化天然ガス価格
- C : 平均燃料価格算定期間ににおける1tあたりの平均石炭価格

$$\begin{cases} \alpha : 0.0028 \\ \beta : 0.1819 \\ \gamma : 1.0863 \end{cases} \quad \alpha, \beta, \gamma \text{は原油換算平均価格を算定するための換算係数（原油換算係数と熱量構成比によって算定される一定の値）}$$

離島ユニバーサルサービス調整制度の概要

離島供給に係る火力燃料費の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、3か月間の離島平均燃料価格が79,300円／kL（料金設定の基準となっている原油換算燃料価格です。）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●離島ユニバーサルサービス調整単価（2026年3月分）

$$= \left[\frac{\text{離島平均燃料価格} - \text{基準値}}{(68,900円) - (79,300円)} \right] \times \frac{\text{離島基準単価}}{1,000}$$

$$= \boxed{\Delta 10,400円} \times \frac{0.003円}{1,000} = \boxed{\Delta 0.03円*} \quad (\text{税込})$$

* 小数点第3位四捨五入

※離島基準単価

離島平均燃料価格が1,000円／kL変動した場合の電気料金単価への影響額

高 圧	0.003円／kWh
特別高圧	

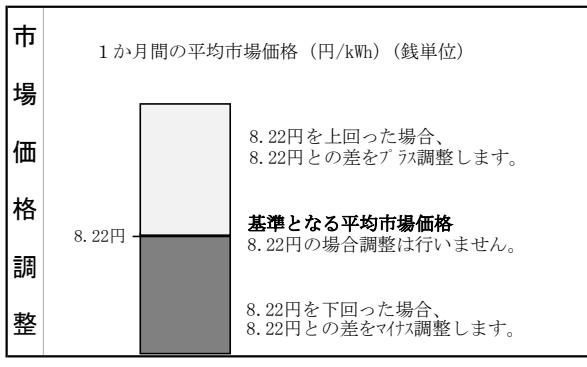
●離島平均燃料価格 = A × α + B × β + C × γ (100円未満四捨五入)

- A : 離島平均燃料価格算定期間ににおける1kLあたりの平均原油価格
- B : 離島平均燃料価格算定期間ににおける1tあたりの平均液化天然ガス価格
- C : 離島平均燃料価格算定期間ににおける1tあたりの平均石炭価格

$$\begin{cases} \alpha : 1.0000 \\ \beta : 0.0000 \\ \gamma : 0.0000 \end{cases} \quad \alpha, \beta, \gamma \text{は原油換算平均価格を算定するための換算係数（原油換算係数と熱量構成比によって算定される一定の値）}$$

市場価格調整制度の概要

卸電力取引市場における市場価格の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、1か月間の平均市場価格が8.22円／kWh（基準となる平均市場価格）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●市場価格調整単価（2026年3月分）

平均市場価格

$$= \frac{\text{全日平均値} \times \text{合成係数}}{(8.99円 \times 0.4627)} + \frac{\text{昼間平均値} \times \text{合成係数}}{(8.49円 \times 0.5373)} = \boxed{8.72円*}$$

* 小数点第3位四捨五入

⇒ 平均市場価格が8.22円を上回ったため、プラス調整

$$= (\boxed{8.72円} - 8.22円) \times 0.284円(高圧の場合) = \boxed{0.14円*} \quad (\text{税込})$$

* 小数点第3位四捨五入

※調整係数

平均市場価格が1,00円／kWh変動した場合の電気料金単価への影響額

高 圧	0.284円／kWh
特別高圧	0.278円／kWh

電気料金の計算方法

$$\text{電気料金} = \boxed{\text{基本料金}(\text{税込})} + \boxed{\text{電力量料金}(\text{税込})} \pm \boxed{\text{燃料費調整額}(\text{税込})} * 1 \pm \boxed{\text{離島ユニバーサルサービス調整額}(\text{税込})} * 2 \pm \boxed{\text{市場価格調整額}(\text{税込})} * 3 + \boxed{\text{再エネ賦課金}(\text{税込})}$$

*1 平均燃料価格が基準値から上昇したときは+、下落したときは-になります。

*2 離島平均燃料価格が基準値から上昇したときは+、下落したときは-になります。

*3 平均市場価格が基準値から上昇したときは+、下落したときは-になります。

燃料費等調整単価のお知らせ

〔 高圧・特別高圧：標準供給条件、選択供給条件
 (2025年4月見直し前の市場価格調整を適用のお客さま) 〕

2026年3月分

燃料費等調整単価

区分		燃料費調整単価		離島ユニバーサルサービス調整単価	市場価格調整単価	燃料費等調整単価(合計)
		基準燃料費調整単価	割引単価*			
高圧	業務用電力A、産業用電力Aなど	1 kWhにつき	▲1.04円	▲2.30円	▲0.03円	0.00円
特別高圧	業務用電力A、産業用電力Aなど	1 kWhにつき	▲1.02円	—	▲0.03円	0.00円

- 2026年3月分の燃料費調整単価は、2025年10月～2025年12月の平均燃料価格により算出されます。
- 2026年3月分の離島ユニバーサルサービス調整単価は、2025年10月～2025年12月の離島平均燃料価格により算出されます。
- 2026年3月分の市場価格調整単価は、2025年12月21日～2026年1月20日の平均市場価格により算出されます。
- 燃料費等調整単価の推移については、当社ホームページ (<https://www.kyuden.co.jp/business/menu/adjustment-past.html>) をご覧ください。

* 燃料費調整単価に国の「電気・ガス料金支援」による割引を反映しています。
 詳細は、資源エネルギー庁の特設サイト (<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>) をご覧ください。

平均燃料価格

区分	2025年10月 ～ 2025年12月	平均燃料価格 (原油換算)	料金設定の基準となる 平均燃料価格 (原油換算)
平均原油価格	68,874円/kL		
平均液化天然ガス価格	83,931円/t		
平均石炭価格	18,419円/t	35,500円/kL	46,100円/kL

- 平均燃料価格は3か月間の貿易統計実績によるものです。

離島平均燃料価格

区分	2025年10月 ～ 2025年12月	離島平均燃料価格 (原油換算)	料金設定の基準となる 離島平均燃料価格 (原油換算)
平均原油価格	68,874円/kL		
平均液化天然ガス価格	83,931円/t	68,900円/kL	79,300円/kL
平均石炭価格	18,419円/t		

- 離島平均燃料価格は3か月間の貿易統計実績によるものです。

平均市場価格

区分	単位	2025年12月21日 ～ 2026年1月20日	平均市場価格
市場価格	1 kWhあたり	全日 8.99円 昼間 8.49円	8.72円

- 平均市場価格は1か月間のスポット市場価格（九州エリア）の全日（24時間）・昼間（6～18時）の単純平均値を合成係数（全日：0.4627、昼間：0.5373）で加重平均したものです。

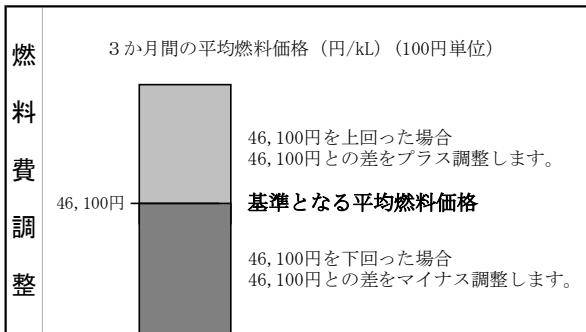
調整実施の基準となる 平均市場価格	1 kWhあたり	[プラス調整] 13.00円	[マイナス調整] 6.00円
----------------------	----------	----------------	----------------

- 平均市場価格が6.00円以上13.00円以下の場合は、調整は行いません。

九州電力株式会社

燃料費調整制度の概要

火力燃料費（原油・液化天然ガス・石炭）の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、3か月間の平均燃料価格が46,100円／kL（料金設定の基準となっている原油換算燃料価格です。）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●基準燃料費調整単価（2026年3月分）

$$\begin{aligned} &= \left[\frac{\text{平均燃料価格}}{(35,500円)} - \frac{\text{基準値}}{(46,100円)} \right] \times \frac{\text{基準単価}}{1,000} \\ &= \boxed{\Delta 10,600円} \times \frac{0.098円\text{ (高圧の場合)}}{1,000} = \boxed{\Delta 1.04円*} \text{ (税込)} \end{aligned}$$

* 小数点第3位四捨五入

※基準単価

平均燃料価格が1,000円／kL変動した場合の電気料金単価への影響額

高圧	0.098円/kWh
特別高圧	0.096円/kWh

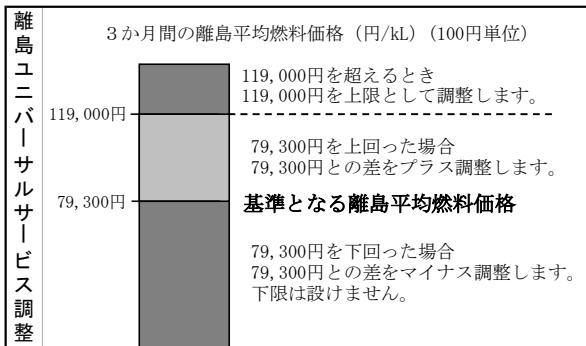
●平均燃料価格 = A × α + B × β + C × γ (100円未満四捨五入)

- A : 平均燃料価格算定期間ににおける1kLあたりの平均原油価格
- B : 平均燃料価格算定期間ににおける1tあたりの平均液化天然ガス価格
- C : 平均燃料価格算定期間ににおける1tあたりの平均石炭価格

$\alpha : 0.0028$ α, β, γ は原油換算平均価格を算定するための換算係数（原油換算係数と熱量構成比によって算定される一定の値）
 $\beta : 0.1819$
 $\gamma : 1.0863$

離島ユニバーサルサービス調整制度の概要

離島供給に係る火力燃料費の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、3か月間の離島平均燃料価格が79,300円／kL（料金設定の基準となっている原油換算燃料価格です。）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●離島ユニバーサルサービス調整単価（2026年3月分）

$$\begin{aligned} &= \left[\frac{\text{離島平均燃料価格}}{(68,900円)} - \frac{\text{基準値}}{(79,300円)} \right] \times \frac{\text{離島基準単価}}{1,000} \\ &= \boxed{\Delta 10,400円} \times \frac{0.003円}{1,000} = \boxed{\Delta 0.03円*} \text{ (税込)} \end{aligned}$$

* 小数点第3位四捨五入

※離島基準単価

離島平均燃料価格が1,000円／kL変動した場合の電気料金単価への影響額

高圧	0.003円/kWh
特別高圧	

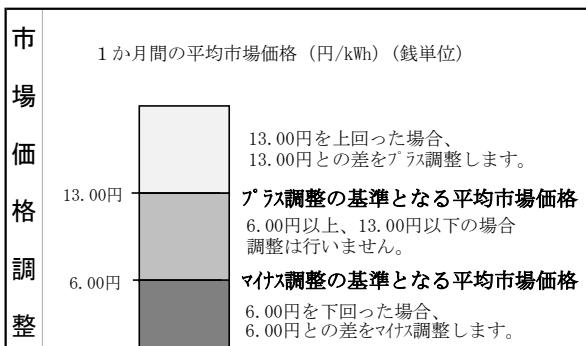
●離島平均燃料価格 = A × α + B × β + C × γ (100円未満四捨五入)

- A : 離島平均燃料価格算定期間ににおける1kLあたりの平均原油価格
- B : 離島平均燃料価格算定期間ににおける1tあたりの平均液化天然ガス価格
- C : 離島平均燃料価格算定期間ににおける1tあたりの平均石炭価格

$\alpha : 1.0000$ α, β, γ は原油換算平均価格を算定するための換算係数（原油換算係数と熱量構成比によって算定される一定の値）
 $\beta : 0.0000$
 $\gamma : 0.0000$

市場価格調整制度の概要

卸電力取引市場における市場価格の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、1か月間の平均市場価格がプラス調整の基準価格を上回った場合、またはマイナス調整の基準価格を下回った場合、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●市場価格調整単価（2026年3月分）

$$\begin{aligned} &\text{平均市場価格} \\ &= \frac{\text{全日平均値}}{(8.99円 \times 0.4627)} + \frac{\text{合成係数}}{(8.49円 \times 0.5373)} = \boxed{8.72円*} \end{aligned}$$

* 小数点第3位四捨五入

⇒ 平均市場価格が6.00円以上、13.00円以下のため調整なし

- 平均市場価格が13.00円を上回った場合 … プラス調整
 $(\text{平均市場価格} - 13.00円) \times \text{調整係数}$
- 平均市場価格が6.00円を下回った場合 … マイナス調整
 $(6.00円 - \text{平均市場価格}) \times \text{調整係数}$

※調整係数

平均市場価格が1,00円／kWh変動した場合の電気料金単価への影響額

高圧	0.284円/kWh
特別高圧	0.278円/kWh

電気料金の計算方法

$$\text{電気料金} = \boxed{\text{基本料金 (税込)}} + \boxed{\text{電力量料金 (税込)}} \pm \boxed{\text{燃料費調整額 (税込)}} * 1 \pm \boxed{\text{離島ユニバーサルサービス調整額 (税込)}} * 2 \pm \boxed{\text{市場価格調整額 (税込)}} * 3 + \boxed{\text{再エネ賦課金 (税込)}}$$

*1 平均燃料価格が基準値から上昇したときは+、下落したときは-になります。

*2 離島平均燃料価格が基準値から上昇したときは+、下落したときは-になります。

*3 平均市場価格が基準値から上昇したときは+、下落したときは-になります。

(平均市場価格が6.00円以上13.00円以下の場合、調整は行いません。)